

# 五色池通信

300 2011年 8月 8日 発行  
中土手に自然を戻す市民の会

東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

〒132-0033 Tel 3654-7240 Fax 03-3654-7256

ホームページ: <http://www.cleanaid.jp/nakadote/>

## 8月21日 タケデッポウ・竹細工で遊ぼう

7月17日は、大変暑い一日でしたが、午後は高速道路下の日陰で、タケデッポウ作りであそびました。

荒川に繁茂するシノダケを使ってタケデッポウを作り、ムクの実を弾にして遊びました。実の大きさにちょうど合う太さのシノダケを使って、タケデッポウを作ります。

鋸やナイフを使うので、お父さんに手伝ってもらいながら、完成したテッポウで、快音を放って飛ばしていました。

8月21日はこのタケデッポウ作りの他にも、竹トンボや竹の弓作りなど竹を使った遊びを準備しています。

シノダケは、荒川の河川敷に生えており、竹トンボや弓づく

りに使うマダケは千葉県からいただきました。鉄砲に使う玉はやはり荒川河川敷に自生しているムクの木とエノキの実です。ピーピー弾のプラスチック製のものが落ちていて、いつまでも腐らず、クリーンエイドでも水際に落ちているのがありますが、これらの木の実は、飛ばした先で芽を出し、成長して立派な木になる可能性もあります。環境にやさしい遊びです。

このプロジェクトは「2011年度JT青少年育成に関するNPO助成事業」の一環として実施しています



写真 シノダケで作ったタケデッポウ マダケを割って作った弓 シノダケとマダケを割って作ったタケデッポウ エノキの実 直径約6ミリ



### この後の行事予定

8月21日(日) 中土手五色池

10:00 タケデッポウ作り、竹細工、自然遊び

9月3.4日 荒川源流エコツアー

薪集めボランティアと交流、原生林散策(要申込み)

9月11日(日) 下平井水辺の楽校

10:00 水辺の自然調査、自然遊び

9月18日(日) 中土手五色池

10:00 生物調査、ザリガニ釣り、自然遊び

# 7月17日 ザリガニ掘りを楽しみました

7月17日の「ザリガニ釣り」と「バツとり」は、江戸川区の広報で案内したところ、親子30名の定員に対して、44名の参加があり、大盛況でした。

池の水は、連日の猛暑で干上がり、ザリガニやカニたちは、穴にもぐっていましたが、スコップや移植小手で池の底を掘り返し、ザリガニをたくさん採っていました。糸で釣り上げるのとは違った面白さがあったようで、親子で熱中していました。

バツ類も、越冬した大型のツチイナゴやまだ小さいその子どもたち、そのほかショウリョウバツやコバネイナゴ、トノサババツ、ササキリ、カマキリなどの幼虫があふれるほどたくさんいて、虫かごに入りきれないほど捕まえた子もいました。

昼は持ちよった具を集めてトン汁を作りましたが、そのトン汁作りの火を焚く作業にはまっている小学生もいて、自然体験の楽しさを満喫していました。



## 『五色池通信』 15年 300号

今号は300号となりますが、実は「五色池通信」の創刊から数えて300号というわけではありません。

中土手に自然を戻す市民の会は、1996年6月30日、五色池の完成を記念して、池作りに参加した人たちがちょうど40名集まって結成の会議を行いました。

そもそも、河川環境保全モニターだった野村圭佑さん(故人)が、総武線下流中土手の水溜りに絶滅危惧種のミズアオイが生えているのを発見して、荒川下流工事事務所に雨水の溜まる池を作ることを提案し、同事務所が呼びかけて、市民参加で池を作るプロジェクト実行委員会が作られました。96年1月から工事が始まり、水路や堤防作りなどの作業に延べ230人が参加して6月に完成しました。

ニュースはその直後から『五色池通信』の名称不定期に発行され、ほぼ毎月発行されていますが、当初のころは例えば「97年5月号」のような表記をしていました。通し番号を振るようになったのは2000年からですが、詳細は調べています。

それ以来10年間余で約百号を発行したことになります。これもまたひとつの記念すべきことではないかと思えます。あまり変り映えしませんが、今後も続け行きますのでよろしく願いいたします。

佐藤正兵

